

健康里から づくりの

子育て支援係が できました

子どもが健やかに育ち、子育てに関する福祉環境をより充実させることを目的に、保育所や児童福祉、母子福祉に関する窓口として、新たに子育て支援係を設けました。今後、保育所の入所申請や放課後児童クラブの申請などの受付、ひとり親家庭の支援のほか、待機児童対策にも取り組んでいきます。

子育て支援センターを ご活用ください

子育て支援センターは、家庭で子育てをしている方や妊婦の方を対象に開放しているスペースで、親子で自由に利用することができます。

- なかよしひろば
神代保育園 ☎86-5053
- わくわくキッズ
笹川中央保育園 ☎86-3999
- さくらんぼルーム
(公民館東城分館)
橘保育園 ☎080-5901-6211
- 子育てサロンスマイル
(笹川小学校前)
笹川中央保育園 ☎86-3999

問い合わせ
保健福祉総合センター内
健康福祉課 子育て支援係
☎79-0910



4月より東庄病院に赴任しました、医師の鈴木健司と申します。3月まで旭中央病院で、整形外科医として年間200件を超える手術を行ってきました。多くの骨折患者さんを診てきた経緯から、今回はその予防に最も重要な骨粗しょう症のお話をさせていただけたらと思います。

▶趣味は旅行(タイでトラと一緒に)



国保東庄病院
すずき たけし
鈴木 健司 医師

骨粗しょう症について

たら背骨がつぶれるように骨折していることです。レントゲンで見ると下の写真のように骨がつぶれてしまっています。「最近腰が曲がってきた」「身長が縮んだ気がする」「腰が痛い」といった症状がある場合にはいつの間にか骨折である可能性が考えられます。このような症状がある場合には骨がスカスカになっていくため、少し転んだだけで手首の骨や、足の付け根の骨を折ってしまう危険性が

高いといえます。いつの間にか骨折は骨粗しょう症により起こるものです。そのため、骨粗しょう症かどうかを調べることが最も重要です。骨粗しょう症を調べる方法は病院でレントゲンを取り、特殊な検査機器で骨密度を調べることが必要です。東庄病院では精度の高い骨密度の検査機械を保有しています。また、検査自体もすぐ行うことができるので、その日に結果が分かり早急に治療を開始することができます。

50歳前後の女性は、「私はまだ若いから大丈夫」と思っているかもしれませんが、この年代の女性こそ最も骨粗しょう症の検査をすべきなのです。女性ホルモンの関係から50歳前後から急激に体の骨がやせ衰え始めます。一度失われた骨を増やすには時間がかかりますが、あらかじめ治療し予防しておけば骨の量は十分維持できます。この年代から治療に取り組むことが、将来の骨折予防に非常に大切です。

東庄病院の診療日

内 科	月～金曜日の午前および 第1・第3土曜日の午前
整 形 外 科	毎週火曜日の午前 (予約制)

(受付時間は午前11時まで)

※救急患者については、休診日および時間外でも24時間体制で診療しますので、電話連絡のうえ来院してください ☎86-1177